

- 氏名 高田俊明
- 会員番号 PEN0070
- 試験分野 Mechanical
- 試験日 2010/4/15
- 参考書、問題集等



PE 試験に向けては下の参考書と問題集を買っておけば十分と思います。

- ① Mechanical Engineering Reference Manual for PE Exam
- ② PE 試験用のReference Manual。¥32,000 くらい。ちなみにFE 試験のReference Manual と重複している記載が多数あります。値が張りますがお布施とおもって…。
- ③ Practice Problem for the Mechanical Engineering PE Exam PE 試験用の問題集です。¥7,000 くらい。これをすべて解いて理解しておけばたぶん合格間違いないでしょう。SI 単位系とU.S. Customary Unit の両方の解法が記載されているので米国単位系になれるのにも便利です。

### 受験のきっかけ

大学時代は機械工学が専門でしたが、長らくパソコン関連の量産設計に携わっており、どちらかという論より証拠、Try & Error のDesign by Test の世界にいました。所属事業の撤退に伴い重電のDesign by Analysis の世界に移ったのを気に、再度工学を学び直したいと思ったのが契機です。

### 勉強法

FE 試験を合格し、PE 試験に臨むに当たり一番気になったのはFE 試験とPE 試験では何が違うのかという点でした。違いがわかれば対策も立てやすくなります。私が受験した FE 試験は2 年前(2009 年春)、PE 試験は1 年前(2010 年春)なので多少変わっているかもしれませんが、違いと対策を簡単にまとめておきます。

|         | FE 試験         | PE 試験                   |
|---------|---------------|-------------------------|
| 1: 持ち込み | 配布されるハンドブックのみ | 何でも持ち込み OK              |
| 2: 問題の質 | 基本的な理論計算      | より実務に近い内容               |
| 3: その他  | SI 単位系        | U.S. Customary Units 多数 |

PE 試験は持ち込み可の試験なので、Reference Manual i)のポイントに付箋を貼ったり、要点を自分なりにノートにまとめ、試験当日参照しやすいように心がけました。この中で、単位系はPE 試験に向けてしっかり慣れておかないといけないポイントだと思います。私が受験したときのPE 試験では嫌がらせのようにUS Customary Units の問題がたくさん出題されました。また特に困ったのが単位等の略号。たとえばCFM(Cubic Feet per Minute)といった単位は、Reference Manual i)の索引ではひっかからないので。見たことあるけど何だったか？と悩むと問題に取りかかる前に予想以上に時間を浪費してしまいます。

結局 PE 試験に向けた勉強としてはReference Manual①) と問題集②)をしっかり理解することですが、業務が忙しいとなかなか試験勉強ははかどらず到底全部理解する時間は無かったので、優先順位をつけて取り組みました。

- 少なくとも自分の専門分野は、ばっちり理解しておく
- 仕事に関係ありそうなところ、おもしろそうなところに手を伸ばす。
- 残る範囲については Reference Manual に何が記載しているのかざっと把握。

試験時間に多少余裕があるので、一見さっぱりわからなくてもReference Manual i)の索引で調べて回答できた問題が何題もありました。そのための③です。

## 試験当日

持ち込み可の試験は、準備不足であればあるほどいろいろと持って行きたくなりますが、たくさんの参考書は持ち歩くだけで疲れてしまいますし、そもそも試験会場の机は奥行きがさほど広くないのでいろいろと書籍を広げることにはできません。

※試験当日持ち込んだもの

- ・上記参考書とノート
- ・英語辞書（忘れがちですが大事です）
- ・電卓（FE 試験の際に使用したもの）

## 最後に

気が向いたら PE 登録しようと思っていたら、あれよあれよと1年が過ぎてしまいました。一度タイミングを逃すとずるずる行ってしまいがちなので、皆さんは合格したらその勢いで早々に登録作業を進めるのが吉だと思います。私もこの PE 試験合格体験記執筆を契機にさっさとPE 登録を済ませることにします。日本人の登録に一番寛容そうなWashington 州を予定し、素っ気ないけどレスポンスの早いDOL に何度か質問事項メールしましたが、要はちゃんと申請書の記載事項がVerify されていれば細かいことは気にするな、という印象でした。PE 登録後は、JSPE 主催の鬼金CPD セミナーに参加しながらPMP(Project Management Professional) 取得を目指したいなあと思っています。(JSPE では、PE+PMP を鬼金と呼ぶそうです)。